



小金井市議会 「みらいのこがねい」 会派ニュース

2023年度 第3回定例会 庁舎等建設 検証結果 速報号 vol. 101

- 第3回定例会：市は全員協議会にて新庁舎等建設事業の検証結果と再開を説明
～今後の焦点は今定例会に追加提出予定の補正予算案の採決結果へ（9月13日）
- 村山ひでき一般質問：まちのにぎわいづくりで地域経済の振興を（9月6日）
- 検証実施9項目の設計反映について詳細報告…裏面とあわせてご覧ください

新庁舎建設事業の検証(9項目)結果は…設計をやり直す効果は見いだせず！

9月13日 市議会 全員協議会 市の結論は「新庁舎と(仮称)新福祉社会館の同時竣工+広場拡大の再検討」で事業再開へ



9月13日の市議会全員協議会にて新庁舎等建設事業の検証作業の結果と再開について説明、質疑がありました。

9項目に及ぶ検証の結果(下段および裏面参照)、設計費用を含む工事費コスト、設計期間、機能面等への影響を考慮すると設計に反映するだけの効果は見いだせなかったものの、**新庁舎と(仮称)新福祉社会館の同時竣工と広場の拡大が可能か検討し**、関連予算を市民説明会後の今年第4回定例会(12月議会)に提出したいという市の考え方が示されました。

まずは今定例会の開会中に実施設計を再開に必要な予算措置を行うための補正予算案が追加提出される予定ですが、やっと議員多数が理解を示す状況になりつつも、補正予算案が可決されるかどうかは尚、予断を許しません。いよいよ正念場の新庁舎等建設事業！引き続きご注目ください。

誕生日の翌日。52歳と1日目に「地域経済の振興」をテーマに一般質問。**デジタル地域通貨**の創設、**さくらポイント事業**の課題解消、**包括施設管理業務委託**の必要性を主張しました。詳しくはYouTube、もしくは上記QRコードからも視聴できますのでご高覧ください(9月6日)

検証実施項目の設計反映について

2023(令和5)年9月13日 市議会全員協議会資料より

NO.	項目	設計のやり直し		大臣認定の取り直し		設計費用(概算)	工事費増減	設計費用(概算)と工事費増減の合計額	令和5年10月再開後の想定設計期間	設計反映
		必要	不要	必要	不要					
①	総耐震 + 地下駐車場廃止 + 立体駐車場	○			○	2.3億円	-3.7億円	-1.4億円	18か月	×
		<<機能面等への影響>> ・庁舎、(仮称)新福祉社会館ともに耐震構造になる ・福祉社会館が立体駐車場で隠れる ・広場面積減 ・敷地内のオープンスペースがなくなる ・1,2階の採光が悪化								
②	総免震化	○		○		2.2億円	+3.0億円	+5.2億円	21か月	×
		<<機能面等への影響>> ・庁舎、(仮称)新福祉社会館ともに免震構造になる								

※裏面に続く

NO.	項目	設計のやり直し		大臣認定の取り直し		設計費用(概算)	工事費増減	設計費用(概算)と工事費増減の合計額	令和5年10月再開後の想定設計期間	設計反映
		必要	不要	必要	不要					
③	地下駐車場廃止 + 立体駐車場	○		○		1.7億円	+3.1億円	+4.8億円	21か月	×
		≪機能面等への影響≫ ・敷地内のオープンスペースがなくなる ・1,2階の採光が悪化 ・(仮称)新福祉会館が立体駐車場で隠れる ・広場面積減								
④	新庁舎と(仮称)新福祉会館の同時竣工時の影響		○		○	+0.1億円	-0.1億円	+0.0億円	10か月	○
		≪機能面等への影響≫ ・(仮称)新福祉会館オープン時に庁舎が工事中であることによる課題((仮称)新福祉会館利用者への騒音・振動、安全上のリスク)が解消される ・(仮称)新福祉会館と庁舎工事エリアを隔てる仮設壁の設置・撤去が不要となる(※仮設壁撤去工事時には、多目的室や親子あそびひろばの利用を最長1か月程度休止する可能性あり)								
⑤	外壁仕様変更(カーテンウォールからアルミサッシへ変更)		○	○		+0.5億円	-0.1億円	+0.4億円	15か月	×
		≪機能面等への影響≫ ・省エネ計算再計算が必要 ・鉄骨下地工事の増 ・北面外壁の工種が増える(工事の手間、順序、調整の増加) ・外観の透明感の減衰 ・執務室が暗くなる ・断熱性が向上する								
⑥	庁舎西側階段(1~2階)の削減		○	○		+0.4億円	-0.1億円	+0.3億円	13か月	×
		≪機能面等への影響≫ ・2階の床面積が増える ・省エネ計算再計算が必要 ・1,2階の利便性低下								
⑦	議場の上部カット		○	○		+0.5億円	-0.1億円	+0.4億円	18か月	×
		≪機能面等への影響≫ ・議場の天井高さが低くなる								
⑧	庁舎北面3階以上段上形状見直し	○		○		2.1億円	-2.7億円	-0.6億円	21か月	×
		≪機能面等への影響≫ ・4階以上の延床面積減(574㎡減) ・外観上のランドマーク性が減衰								
⑨-1	広場の再検討(地上駐車場縮小+立体駐車場)		○		○	+0.3億円	+4.5億円	+4.8億円	13か月	○ ※広場面積増を目指す が、駐車場台数及び駐輪場台数との兼ね合いなど詳細検討が必要であることから、具体的な方法は実施設計の中で別途検討
		≪機能面等への影響≫ ・広場面積増(935㎡) ・福祉会館が立体駐車場で隠れる ・敷地内のオープンスペースがなくなる ・1,2階の採光が悪化								
⑨-2	広場の再検討(地上駐車場縮小その1)		○		○	+0.3億円	-0.0億円	+0.3億円	13か月	
		≪機能面等への影響≫ ・広場面積増(1,300㎡) ・駐車台数19台減								
⑨-3	広場の再検討(地上駐車場縮小その2)		○		○	+0.3億円	-0.0億円	+0.3億円	13か月	
		≪機能面等への影響≫ ・広場面積増(1,590㎡) ・駐車台数26台減								
⑨-4	広場の再検討(駐輪場縮小その1)		○		○	+0.3億円	-0.2億円	+0.1億円	13か月	
		≪機能面等への影響≫ ・広場面積増(942㎡) ・地上駐車場出入口と、地下駐車場の車両出入口が近接し、安全上の課題がある ・駐輪場台数が西側48台の場合、137台減。西側100台の場合、85台減								
⑨-5	広場の再検討(駐輪場縮小その2)		○		○	+0.3億円	-0.2億円	+0.1億円	13か月	
		≪機能面等への影響≫ ・広場面積増(942㎡) ・地上駐車場出入口と、地下駐車場の車両出入口が近接し、安全上の課題がある ・駐輪場台数が西側48台の場合、137台減。西側100台の場合、85台減								

※令和5年10月再開後の想定設計期間=「設計のやり直しが必要な項目=当該項目の設計期間+3か月(令和5年10月~12月)」、「設計のやり直しが不要な項目=当該項目の設計期間+9か月(当初予定していた再開後設計期間)」により算出

※「着工時期の変更(清掃関連施設除去後着工)」については、実施設計再開時に別途検討予定